

季刊号



2020 春号 (第 32 号)

2020.03.25 発行

特集

サステイナブル・コミュニティ=やさしく、
しなやかに続く地域をつくる

総論

脱プラスチック社会は可能か



2019 秋号 (第 30 号)

2019.09.25 発行

特集

新たな時代の、新たな流通 生協は
何に、どう対応すべきなのか？

総論

キャシュレス社会考



2019 春号 (第 28 号)

2019.03.25 発行

特集

創り、支え、広げる「わたしたち」のくらし

争論

現代社会、そして生協にとっての民主主義とは？



2019 冬号 (第 31 号)

2019.12.25 発行

特集

多様な立場から考える食の科学技術
ーゲノム編集技術に着目してー

総論

科学技術とどのように向き合うか



2019 夏号 (第 29 号)

2019.06.25 発行

特集

「公」から住民主体による「民」への取り組み

総論

民営化とは？市場経済と公共性から考える



2018 冬号 (第 27 号)

2018.12.25 発行

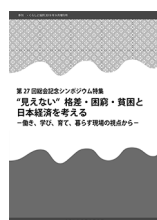
特集

事業体と持続可能社会への模索

争論

人口減少社会にどう立ち向かうのか

増刊号



2019 年 9 月増刊号

2019.09.25 発行

第 27 回総会記念シンポジウム特集

“見えない”格差・困窮・貧困と
日本経済を考える

ー働き、学び、育て、暮らす
現場の視点からー



2018 年 9 月増刊号

2018.09.25 発行

第 26 回総会記念シンポジウム特集

現代のくらしにおいて、
わたしたちには何ができるのか？

ー『無印良品』のあり方と
仕組みから考えるー

編集後記

現在、社会全体で厳しい状況が続く中、本号を企画しましたコーポラティブ・ラボのメンバーが所属する各大学においても、学生の学びの在り方や研究の取り組み方など、これまでとは異なる大きな変革が起きています。特に大学における教育関連ではインターネットを活用した授業が注目されています。もちろん、こうした授業そのものに問題はありますが、本来の教育の本質は知識や情報のみの伝達ではなく、知を媒介とした現実の場における人々の総合的な交流にあり、学生、教員ともにそうしたことを期待・重視して学びの場に足を運んできたといえます。「何を伝えるか」と「どのように伝えるか」はどちらも欠かせない大切なことだと思えます。(片上敏喜)

季刊 **くらしと協同** (第 33 号) 2020 年 9 月 25 日 発行

編集企画 | 『くらしと協同』編集委員会

編集長 | 杉本貴志

発行所 | くらしと協同の研究所

理事長 | 若林靖永

住 所 | 京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町 258 コープ御所南ビル 4F (〒604-0857)

電 話 | 075-256-3335

F A X | 075-211-5037

E-mail | kki@ma1.seikyoku.ne.jp

U R L | <http://kurashitokyodo.jp>